

令和 5 年 11 月 8 日

浜田市議会議長

知 平

様

議員名

中 尾 昭

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間      令和 5 年 10 月 28 日 (土)      :      ~      :
2. 研修内容  
どうする? と元代表者の中での話し合いの修習。
3. 研修先  
白川-新井-丸洲。宝善堂での話し合い。
4. 調査経費      10103-      円  
(経費内訳      6388 円      5728 (交通費) 円 )
5. 調査研究活動の概要  
新井にて:



## 対話による地方議会活性化フォーラム in 安芸高田市

テーマ『どうする？ 2元代表制の中での議会の役割』

日時：令和5年10月28日、午後1時30～午後5時30

主催：ローカルネットワーク九州。

共催：安芸高田市の未来をつくる会。

1部：基調講演：江藤俊明（大正大学教授）

\* 『2元代表の意義とは』

問題提起

\* 『2元代表制の一翼として、議会は機能しているのか?』

林晴信（西脇市議会議長）

前田隆夫（西日本新聞論説委員）

コーディネーター（神吉信之）

2部：ワークショップ

\* 『どうする？ 2元代表制の一翼として、議会が機能するために』

ファシリテーター、 福井崇郎（福津市議会議員）

\*各班より発表。

ディスカッション

田邊介三、 林晴信、 前田隆夫、 江藤俊明、 神吉信之。

飛び入り参加で千葉茂明。

## 考察

今回は、公明党の2名の議員、肥後議員の4名で参加ということであった。特に、印象に残ったのは、別海町議会の一般質問について、事前に協議会で質問の練り直しなどを全体で叩いて、更に仕上げで通告するというやり方に賛同が集ったが、私はそれは間違っていると思う。事前の地ならしは、いかにもいいように聞こえるが、議会全体を巻き込んだ談合のようである。やるのであれば、せめて、会派の枠内ではあるまいか。

以上報告します。牛尾昭。